

4月  
第4日曜日

令和5年度 交流農園・「援農・野菜栽培塾」実習予定・記録・利用報告  
兼七ツ塚ファーマーズセンター交流農園及び農機具倉庫管理に関する利用報告

実施の日時	令和 5 年 4 月 23 日 ( 日 )	変更日
当日の天候	晴天・晴のち曇り・曇り・小雨模様	気温( 度)・湿度( %)
当日の参加者		参加人員 合計 名/

圃場での作業内容(当日の圃場作業の段取りと作業内容の説明)		変更の場合の記録
① ストレッチ体操	圃場(倉庫前)でストレッチ体操をします。	
② 全体ミーティング	当日の作業内容を説明し、確認します。	
③ 圃場作業を行う	圃場内の除草作業から始まります。	
■ 里芋類の植付 里芋 2畝 八ツ頭 1畝 セルベス 1畝 タケノコ芋 1畝	・苦土石灰、ダイアジンを散布し、耕土 ・畝間80cm、深さ10cmの溝を掘る ・株間40cm(タケノコ芋は35cm) ・芽を上にし植付し、芋に覆土する ・種芋間に牛糞・化成888を1握りづつ置く ・植付後、覆土する(溝のところは高めに覆土する)	
■ ネギの定植 6畝	・苦土石灰、牛糞、殺菌剤フロンサイドを散布し、耕土 ・畝間90cm、深さ30cmの溝を掘る ・苗は溝に垂直に立てて植付 株間5cm ・覆土は根が隠れる程度(倒れなければ良い) ・株の根元に稲わらを敷き、化成888とダイアジンを散布する ・稲わらが隠れる程度に、薄く覆土	
■ 枝豆の種蒔 1畝	・1穴に2粒の種蒔し覆土する ・ダイアジンを散布し、散水のうえ寒冷紗をベタ掛けする	
■ カボチャ苗の定植 5株	・苦土石灰、米ぬかを散布し耕土 ・畝間150cm、株間100cm ・定植位置に直径20cmの穴を掘り、牛糞・化成888を入れかき混ぜたうえで定植し寒冷紗を掛ける	
■ 管理と収穫	・ベタ掛けされている寒冷紗は、トンネル掛けにする ・栽培中の畑の除草と追肥・土寄せ ・のらぼう菜、黒キャベツの摘み取り収穫	
■ 耕運機講習会	・耕運の実技	
③ 終了ミーティング	次回の作業予定の確認と質問対応	
④ 使用農機具の洗浄	(使用した農機具の洗浄と格納)	
⑤ 次回への申し渡し (気づき点・意見・提案)	次回実習の出欠確認	

当日圃場で使用する農機具・肥料・資材・薬品類(数量は人員・圃場作業で違う)						変更の場合の記録		
準備する道具 (人員・作付で異なる)	リヤカー	1	一輪車	2	鍬	5	スコップ	大1、小1
	鋤簾(おかめ)	5	草かき		ネジリ鎌	5	レイキ	1
	テミ		バケツ	5	野菜箱		ジョウロ	1
	バカ棒	○	耕運機	1	圧縮消毒器		竹ぼうき	
	化成肥料	○	苦土石灰	○	穴あきパンチ		黒丸	20
	稲わら	○	弓		ハサミ	2	包丁	
	黒マルチ		殺菌剤 フロンサイド	○	寒冷紗	○	パオパオ	—
	巻尺	○	ロープ	○	殺虫剤 ダイアジノン	○	ポリタンク	1
	三角ホー		プリンカップ	○	牛糞	○		

作成者 □ 市役所 ■ 援農の会

2021.03 NPO法人日野人・援農の会 研修・実験農園 指定用紙  
七ツ塚ファーマーズセンター農機具倉庫管理指定用紙(2021.04 改定)